赤い羽根募金は 先ず町の目標を

赤い羽根の共同募金が今年も十月一日から始まります。新潟市や新発田市の街頭で「お願いしまあす」といわれるとだまつて通れないのが人情。そこで金拾円也を投じて赤い羽根を胸につけてもらう。そうすればどの関所も安心して通れます。

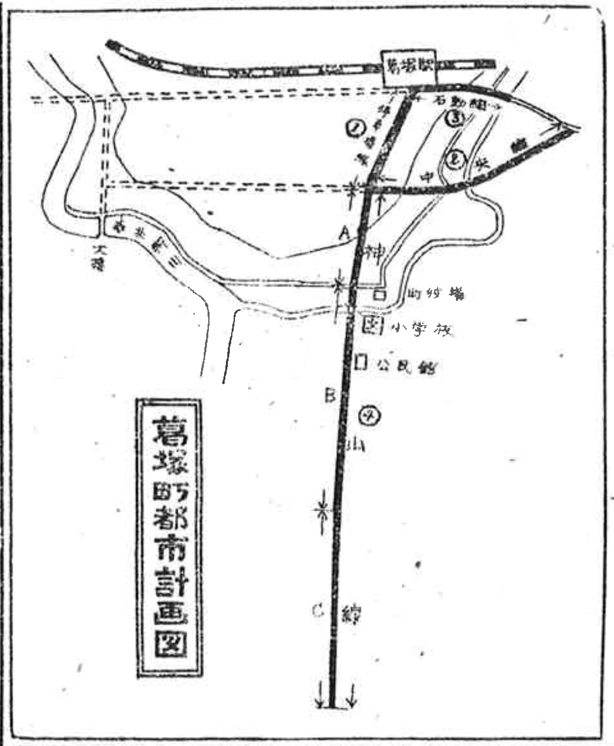
それはそれでよいのですが、新潟や新発田で出したから葛塚町の募金は出さないというのでは困ります。あれはそれぞれの市の目標額の募金をやつているので、それと同じように葛塚町の目標額もあるのです。葛塚町の住民は先ず自分の町の目標額達成につとめて下さい。それを達成した後になお志があつたらよその募金にも援助してあげて下さい。

葛塚町はすでに演劇興行で約半額の募金をやつていますのであのとき入場券を買つて下さつた家庭へは近く赤い羽根を配布します。

講和発効 敬老会の開催

絶対不敗の神国として輝しい三千年の歴史も、敗戦によつて悲しい現実に突当り、八千万国民ひとしく涙にくれましたが、焦土の中から雄々しくたち上り講和発効を機として、正しい民族の繁栄と人類、永遠の平和に向つて力強く再出発することになりましたので、これを記念し左記のとおり敬老会を開催することになりました。

一、期日、九月十五日（老人の日）午後一時から
一、会場　葛塚町公民館
一、招待する人、町に在住する呼び歳七十以上の人



葛塚町都市計画の解説

この図に示しました街路網は白新線葛塚駅の開設により葛塚町の発展するに従つて重要な役割をする幹線となつてきます。葛塚町は農業並に商工業の隆盛に加えて福島潟の干拓に伴い交通は一層頻繁になるものと思われますが、道路の現況は幅員がせまく屈曲も甚だしいので昭和二十七年以降三ケ年間にわたつて都市計画街路事業を進めて行きたいと思います。

図の❶停車場線（停車場―中学校裏）巾員一八米延長三〇八米で二十七年度執行決定❷中央線（停車場分岐点―法華島屋八幡）巾員一一米延長六四七米で二十八年度執行予定❸石動線（停車場―長谷川工場）巾員一一米延長二六五米で二十九年度執行予定❹神山線A（中学校裏―本町）巾員一一米延長二六〇米で二十七年度執行決定、B（本町―前新田）巾員一一米延長八七四米で二十八年度執行予定、C（前新田―新島）巾員八米延長七七一米で二十九年度執行予定△その他点線の路線は執行年度未定であります。

衛生的で優秀な技術
梅田理髪店
葛塚町相生町

紙上公民講座

町議会に対する請願

請願の権利

憲法に、国民の基本的権利の一として請願の権利を認め、第十六条に「何人も損害の救済、公務員の罷免、法律、命令又は規則の制定、廃止又は改正その他の事項に関し、平穏に請願する権利を有し」と規定してあります。

請願の種類

請願法という法律に、官公署全般に対する請願のことが規定されています。国会に対するものは衆議院規則及び参議院規則に規定されています。県や市町村の議会に対するものは地方自治法に規定されています。以下町議会に対する請願について述べます。

請願の内容

請願法による請願はその事項を所管する官公署に提出しなければなりませんが、議会に対するものは必ずしも議会の権限に属するものと限りません。町に関することであればどの機関が所管することでも広く請願することができます。但し国や県の取扱に属するものは国会又は県議会に提出すべきです。

請願の手続

請願書には要旨と理由とに大別して記します。要旨には何を願おうとするのであるかを短い語句であらわします。次に理由として請願の内容を詳細に説明します。要すれば統計、図面写真等を添えます。

請願書には請願者の住所、氏名、法人団体等はその名称及び代表者の職氏名を記載します。

提出するには議員の紹介を要します。紹介議員は一人でも数人でもかまいません。紹介議員は請願書に「紹介議員何某」と署名します。

請願書の処理

請願書は会議に提出して採決又は不採決を決定します。それを決定する前に関係の常任委員会で審査される場合が多いと思います。

請願は議会で採決と決定しても直ちに執行できるように議決されたのではありません。採決した請願で議会自ら処理できるもののほかは所管の機関へ送ります。たとえば町の事務や事業に関しては町長に、選挙に関しては選挙管理委員会に、防犯に関しては警察署へ送ります。

装飾看板とペンキ塗装
斎藤看板店
葛塚町末広町

送付を受けたところでは採決した議会の意思を尊重しますが、必ずそれを実行しなければならないという法的な責任はありません。特に経費を要する事業は財源の都合や同じような他のものと均衡上実行できない場合も多いと思います。

町の事業等で町長も実施することに方針が定つたときは、これを設計して予算を計上し、改めて議会の議決を経てはじめて執行することになります。

本を可愛がつて下さい

図書係からのお願い

最近の図書貸出は非常に多くなり、昼夜の別なく閲覧者は熱心に読書にいそしんでいます。従つて公民館の図書は、お金か紙幣のように町民の皆様から重宝がられ回転されています。

ところが近ごろ目立つて本が破れて返されてきます。又落書がそちこちに見えますことはまことに遺憾なことであります。公民館は皆さんの憩の場でありまた修養の場所でもあります。本は後から見る人のことを考えて丁寧に取扱い、可愛がつていただきたいのです。

スポーツ

近來にない快事 全日本少年野球大会出場

東京防犯協会主催の優勝大会に葛塚チームは関東、信越、山静代表として出場し、二日目の八月十九日後楽園球場で九州代表熊早チームと対戦し笹川の本塁打、吉井の三塁打、井越の二塁打など六本の安打を浴びせて5A対0で先ず一勝しました。

二十日の準々決勝では東北六県代表八戸インデアンスと対戦し笹川投手前半の不調に乗じ攻撃され後半の立直りと最後の敢闘も空しく五対〇で敗れました。

しかしこの小さな町の少年たちが各都市を破つて県代表となり、はじめて臨んだ後楽園で関東信越山静代表となり、晴の全国大会に出場したということは町民の誰にも彼にも明るく愉快な気持を抱かせたことであつて世間から忘れ去られたような葛塚町の名を広く響かせたことは昨年私どもの公民館が全国表彰を受けたこととともに近頃にない快事として、長く町の歴史にも記録されることでしょう。

早大コーチ 卓球の指導

八月三日中学校で葛塚町卓球連盟主催で中学生と高校生を中心に一般をも交えて卓球の基本的な技術指導を行いました。講師は元全東京軍の監督で現在早大卓球コーチである野村堯之氏です。フオーム、グリツプ、打法（フオーア、バツクの対角線打法や直線打法等）用具ではラバー、スポンジの特徴などについて懇切に指導されました。

新記録続出する 若人の祭典

北蒲原郡青年体育大会は八月十七日新発田外ケ輪校で行われました。この日は絶好のコンディションに恵まれ数々の新記録が樹立され、強豪木場チームが三連勝しました。葛塚チームは三種目競技で浜崎小次郎君が県大会新記録を、梅川栄一君は走巾・三段跳に大会新記録を出し、総合点五五点で第二位（昨年五位）に進出しました。

入賞者は左の通りです。

三種競技❶一七〇〇点浜崎小次郎
走巾跳❶六米三梅川栄一
三段跳❶一二米九〇梅川栄一
男子二百米❷浜崎小三郎
女子六十米❺小林トヨミ
女子砲丸投❸丸山スイノ
二万米❹佐藤誠
男子八百継走❶葛塚チーム一分四〇秒一大会新記録

北蒲一点差で優勝を逃す

県連合青年団主催第六回県青年郡市対抗体育大会は八月二十四日新装成つた佐渡真野町競技場で開催されました。県下七市十六郡から選抜された五百名の若人が郷土の栄誉をかけて熱戦を展開各種目に好記録を続出して競技場に溢れる観衆を熱狂させました。総合成績は西蒲が一点の差で初の優勝を獲得しましたなおこの大会に浜崎兄弟と桜川栄一君が出場し浜崎小次郎君は百米十一秒九、三種競技一、五九五点で優勝しました。

西部郷訪問 駅伝競争

松ケ崎公民館主催年中行事西部郷町村訪問駅伝競走は九月六日行われました。

優勝は木崎チームで葛塚チームは惜しくも六位でしたが、柄沢彦君は第一区間を先頭で走り区間記録賞を獲得しました。

文化

葛塚盆踊の放送

八月十四日夜六時四十五分からローカルで葛塚、岩室、根知青海、堀之内、新潟等各地の盆踊唄が放送されました。

葛塚盆踊の出演者は太鼓 近藤留次、笛 田村仁吉、丸山岩松、唄 佐藤仙六、岩田はる、三味線 小林光子

第二回 ラジオの集い

八月二十六日夜公民館で開きました。

「ラジオの集い」というのは放送を中心として、お互いが意見を発表したり考えを交換することによつて、より民主的な社会人をつくり出そうとするものであります。

今回は文芸というよりも大衆的な社会性を多分にもつた、しかも我々の生活にマッチしている次のような川柳を取上げて笑の中に終始活発な、そして真剣な討議が行われました。

司会三村主事、討論者丸山一石井一郎、阿部和三、伊藤光村鈴木香雲、青木詩朗、佐野鶯撰丸山聖一、水沢子鳳、佐藤正一小山政治

川開き我家の寄附も空に散り
涼み台天文学がほしくなり
金メダル、スターリン片つぼうの眼で笑い
古橋も人間だつた水しぶき
大学がそばで孟母も思案顔
棺桶へ入れる着物の柄を選り
鶏の目にダイヤもつつくものに見え
メニューの安い方へ方へと妻の指
日向水のような相手でくたびれる
背負い投げするように荷はおろし

○洋○画○展○

葛塚町のお祭を機会に九月七日八日九日の三日間公民館の二階講座室で洋画展が開催されました。

出品は油絵、水彩、デッサン等約三十点で中堅どころの進出ぶりが目立つてきました。

デッサンでは毎週土曜日に着衣モデルによる研究を続けていますし、本年に入つてからは三回の裸婦習作を試みましたために、めきめきと上達してきました。

出品者　阿部和三、五十嵐道雄、石山節子、田中早苗、丸山三郎、三村実、三村豊

第二回 南画展の開催

昨年春南画同好者によつて結成され、第二回展を九月八日、九日、十日の三日間町小学校で開催されました。

六曲屏風一双を始め会員十五名の力作二十点で淡々とした南画趣味によつてつながる同志の今後の進展が期待されています

出品者　小田島翠畝、小林高柳小林翠山、佐野鶯撰、島牛歩、鈴木香雲、曽我香蘭、中沢一草長谷川秀甫、水沢子鳳、諸尾蓑峰、横地蛙村、渡辺源泉

分館の行事

正尺の母親教室

八月一日角田格太郎氏宅で開催斎藤保健婦から伝染病についての話、農業普及事務所の川崎技師の操作で、かまどの改善、鶏の飼い方などのスライド映写があつてから、それらを中心に座談会を開きました

下大口公民館の敬老会

部落の婦人部が主となつて八月七日の祝い日を利用してお年寄りと部落婦人との交歓が目的の敬老会を開きました。七十才以上十九人の方々を中心に約八十人の婦人たちで会場は溢れるばかりのにぎやかさ。

三村主事の親孝行の新しい考え方、長谷川助役の白新線の開通についての話があつて僅かな記念品をお上げし夕食を一しよにやりながら唄に踊りに劇にかくし芸のありつたけを御覧に入れて楽しい一日を過しました。

下大口の防犯座談会

八月二十八日、下大口公民館で防犯組合を作り犯罪を未然に防ぐよう部落民が共同して努力することになりました。

先ず大井署長から青少年の不良化防止には、生活を正しくし家庭を明朗化して社会環境を良くすることであるとのお話があつて婦人部の人達を中心に大井署長、大和巡査部長、横山書記、広川分館長、丸山町議なども一緒に防犯座談会を行いました。

父兄母姉の会 ―女子青年講座―

実生活に直結する教育を促進し講座前半期の歩みを反省して今後に資したいという目的で九月一日午後二時から公民館で父兄母姉の会を開催しました。まず生徒自治会の活発なグループ討議に始まり、団体レクリエーションの美しい民謡踊り、スクエアダンス等の事業を参観していただき、父兄母姉と講師並びに公民館職員とで「講座と家庭」についていろいろと懇談しました。

次いで講座生手造りの夕食をみんなで顔をそろえておいしくいただき、夜は講座生が勤労と勉学の余暇に練習した演芸を各組競演で御覧に入れ、又映画や幻灯に楽しい一と時を過ごし、九時に石井公民館長の今後の方針についての講話を最後に有意義に会を終り、親子兄妹肩を並べて帰途につきました。